



● ご挨拶

理事長 依田 浩敏

東日本大震災により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本年3月11日の東日本大震災により、地震、津波といった自然災害の脅威を改めて認識されられるとともに、原子力発電所からの放射能汚染、発電所停止に伴う電力供給不足がおり、安全・安心とは何か、真剣に考えていかねばならない状況に置かれることになりました。

我が国のエネルギー需給の動向をみると、エネルギー消費の面では、快適さや利便性を求めるライフスタイルの普及等を背景に民生部門（家庭部門及び業務部門）のエネルギー消費は増加しています。また、エネルギー供給の面では、一次エネルギー国内供給に占める石油の割合は、2009年度には、42.1%と第一次オイルショック時の1973年度における75.5%から大幅に改善され、その代替として、石炭（21.0%）、天然ガス（19.0%）、原子力（11.5%）の割合が増加する等、エネルギー源の多様化が図られました。しかし、一次エネルギー国内供給に占める化石エネルギーの依存度は81%であり、エネルギー自給率は4%にすぎません。

一方、原子力発電所の設備利用率の上昇等に伴う電力排出原単位の改善がひとつの要因となり、日本の2009年の温室効果ガス排出量確定値は12億900万トン(CO<sub>2</sub>換算)で基準年比-4.6%、前年度比-5.6%となりました。

「温室効果ガス削減・化石エネルギーの使用削減」のために原子力に頼るのか、再生可能エネルギーを推進していくのか、私たちの生活を見つめなおしてより省エネ社会を目指すのか、私たちは大きな岐路に立たされています。

「省エネルギー」とは本来、「エネルギーの使用を切り詰める」、「エネルギーの無駄をはぶく」という意味で使われています。「省」という字には「はぶく」という意味のほかに「注意してみる」、「かえりみる」という意味もあります。「省エネルギー」という言葉を、「エネルギーを有効に使う」、「エネルギーについて考える」という意味でも使用していったらどうかと考えています。 会員各位の様々なご意見をお寄せいただければ幸いです。



特定非営利活動法人 **ふくおか環境カウンセラー協会** 議事録

平成23年度 通常総会

平成23年5月29日（日）13:00～15:00

於ける 北九州環境ミュージアム

最低開催 決定議決 数	出席者	委任状	書面評決	計	出席者 氏名
15/30	9	10	2	21	熊井一博、角谷忠彦、松崎良勇、 三苫達久、武藤博昭、森本美鈴、 矢野郁子、依田浩敏、吉田順子

配布者	会員全員	書記	森本美鈴
<p>0 13:00 に、平成 23 年度通常総会議案書の会議次第について事務局より訂正があり、「7 感謝状贈呈」を1番に繰り上げることとした。</p>			
<p>1 感謝状授与式                      長きにわたり本協会の活動・運営にご尽力された林宏元会員へ、依田理事長より感謝状がと記念品が贈られた。これは4月の平成23年度第1回理事会で決定されたもの。これに対し、林宏元会員からお礼の言葉があった。</p>			
<p>2 理事長挨拶                      依田浩敏理事長から「震災後の電力供給の不安から省エネルギーの重要性が高まっているが、こうしたエネルギーや環境の課題に対して適切なアドバイスが要求される。                      そのため環境カウンセラーの役割は重要であるので、会員の活動を今以上に頑張ってもらいたい。そのために協会がそうした活動をバックアップしていきたい。」との挨拶があった。</p>			
<p>3 会議設立報告                      13時15分、事務局（依田理事長）より、本日の総会は会員総数30名のうち出席者9名、委任状10名、書面評決2名で定足数（2分の1以上の出席）を満たしているので成立することを報告した。</p>			
<p>4 議長選任                      議長の自薦・他薦について、熊井会員への推薦があったので、満場一致で決定した</p>			
<p>5 開会挨拶                      熊井議長が開会を宣言した。</p>			
<p>6 議事録署名人選出                      熊井議長の下、議事録署名人に依田理事長、武藤理事、書記に森本理事の選任があり、満場一致で認められた。</p>			
<p>7 議案審議                      熊井議長により議案審議に入った。</p>			
<p>(1) 第1号議案 平成22年度事業報告に関する件                      資料1を含めて事務局より説明がなされ、満場一致で承認された。</p>			
<p>(2) 第2号議案 平成22年度収支決算報告に関する件                      事務局より詳細の説明がなされ、会費未納金も正味財産として付記している旨の説明も含めて、満場一致で承認された。</p>			
<p>(3) 第3号議案 平成22年度監査報告に関する件                      満場一致で承認された。</p>			
<p>(4) 第4号議案 役員を選任(案)に関する件</p>			

平成23年度から平成24年度までの理事・監事について事務局より役員改選による選任案が出された。北森成治理事、中尾明子理事、小谷茂明理事、田中豊監事は任期満了で理事を退任し、新理事には、

植木康太（重任） 角谷忠彦（重任） 高崎剛広（新任） 三苫達久（新任）  
武藤博昭（重任） 森本美鈴（重任） 依田浩敏（重任） 監事は吉田順子（新任）

の案が提示され、満場一致で承認された。

被選任者は就任を承認し 各理事・監事は所信を表明した。

また、役割分担として、

理事長に依田浩敏、副理事長に武藤博昭、角谷忠彦、総務部（事務局）に高崎剛広、広報部に植木康太、経理部に森本美鈴、福岡支所長に依田浩敏、北九州支所長に角谷忠彦が選任された。

(5) 第5号議案 平成23年度事業計画書（案）

資料2を含めて事務局より説明がなされ、満場一致で承認された。

また、3-7 10周年記念事業準備委員会については、2年後であり、他のNPOとの交流も含め有意義なものにしようとの意見が出て、内容について今後じっくり企画を練ることとした。

(6) 第6号議案 平成23年度収支予算案に関する件

事務局より説明がなされ、会費未納者については、退会届を出してもらう旨の説明がなされた後、満場一致で承認された。

8 議事終了報告

熊井議長が議事終了、閉会を宣言した。

9 見学会

(1) 環境ミュージアム「エコハウス」の見学

環境省の「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」（エコハウスモデル事業）のひとつで、「環境基本性能の確保」「自然・再生可能エネルギー活用」「エコライフスタイルと住まい方」の3つのテーマを基本的な考えとした上で、地域の特性を十分に活かした家づくりを実現したもの。

(2) 北九州水素タウン

八幡製鉄所で製造された水素をパイプラインにより、一般家庭や商業施設、公共施設等コミュニティレベルで供給する世界初のモデル。

以上をもって議案の審議、報告を全て終了し、見学も含め15時00分に閉会した。

この議事録の正確なることを証して以下に署名する。

平成23年5月31日

議 長 熊井 一博 印  
議事録署名人 依田 浩敏 印  
議事録署名人 武藤 博昭 印

今年度の活動計画です。やることはたくさんありますが、なかなか思うようには進みません。

理事の業務分担(案)		第5期（平成23～24年度）				H23. 6. 18
担当理事	業務	1/4期、6月まで	2/4期、9月まで	3/4期、12月まで	4/4期、3月まで	
高崎	総会・理事会運営	1～2回すみ、第3回理事会				
	講師派遣					
	他団体との連絡調整					
	均等税、登記	すみ				
	公文書の管理（ECU通知文書、議事録など）					
	その他、部、委員会に属さない事務					
	入会案内、会員名簿管理					
森本	会計、会費催促					
	県への事業報告	すみ				
	表彰委員会					
	こどもエコクラブ普及分 化会					
	エコライフステージ			10/15～16		
植木	会報発行		1回目発行		2回目発行	
	HPの管理					
	MLの管理					
三苦	自然環境分科会					
依田	生活環境分科会, エコ検 定受験講座					
	10周年記念事業準備					
	パンフレット発行					
角谷	未来ホテルデ-出展	中止				
依田	総括					
角谷	業務部門担当					
武藤	管理部門担当					

## 活動報告

### [こどもエコクラブ交流会、サポーターズサミット]

吉田 順子

11月19日の報告です。

どちらも楽しく、盛況のうちに終了しました。  
ご協力ありがとうございました。

県内6エコクラブからの参加で子ども40名、サポーター、市町村担当者、応援団（学生、一般）等計29名、+県4名・・・でした。

サポーターサミットでは約1時間の短い時間でしたがたくさんの課題が見えてきたようです。



私は残念ながらこちらには参加できませんでしたが数人のサポーターさんに感想を聞くと、「とても有意義だった」「またやってほしい」という声はすぐに返ってきました。

原賀さんはじめ参加カウンセラーさん達の上手な進行のおかげでしょうね。

たくさんの感想、ご意見等が寄せられています。



急いで整理して次回につなげたいと思っています。

次回はいつにしましょうか？

まずは無事終了のご報告でした。

### [良く分かる「家庭の省エネ」市民企画講座にチャレンジ]

松井 亮二

今年9月福岡市早良区役所主催の市民を対照とした「良く分かる市民企画講座」（一テーマ4～5回に分けて）に講演テーマ「夏の電力危機を乗り越え無理なく出来る家庭の省エネ」～エコライフで、ストップ温暖化～について初級用に編集しチャレンジしました。

主催者の早良区との事前打合せで、今まで自分なりに分かり易く説明してきたつもりの内容で臨みましたが、日ごろ市民に接しているご担当殿（女性）から、初めて参加する市民には非常に分かりづらいよとご指摘がありそれって「ホントー」と悩みました。



振り返って見ると私の説明は、環境省、県、市等主催のセミナーやシンポジュームの大学

教授や専門職員の講演を基に電気技師としての「良く分かる市民企画講座」風景知識と経験を入れて組み立てたもので、目次のタイトルが技術書的な用語になっており、説明したい目的になっていないことに気がつきました。

毎日市民と接している職員のアドバイスと最近テレビの人気番組池上彰氏の「学べるニュース」を何度も聞き直し次の内容で見直した結果、今までと違った手応えが得られ環境カウンセラーの基本に帰ることができました。

今回の「良く分る市民企画講座」講演で見直した内容

項目	今までの内容・方法	見直した内容・方法
目次タイトル見直し（例）  （説明する内容でなく伝えない目的に変更）	地球温暖化の原因	地球はなぜ温暖化するのでしょうか？
	地球温暖化の影響	このまま続けていくとどうなるの？
	エコライフの概要	エコライフとはどんなことをするの？
	省エネの生活の必要性	今、私たちは誰のために、何を守らなければならないのか？
方法（全員参加型にする）	一方的な説明をして最後に質問を受ける（既存の方法）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・途中で講師から質問をした。</li> <li>・3択クイズを入れた。</li> <li>・途中で参加者の体験を披露してもらった。</li> <li>・講演中何時でも質問OKとした。</li> </ul>
形式（実践の場を入れる）	一回で一方的な説明で終わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二回に分けて実施し次回までに一回目に説明した電気の省エネを実践して一ヶ月間の成果を出してもらった。（領収書で昨年同月実績と比較）</li> <li>・全員の成果とノウハウをワークショップ形式でまとめ、情報の共有化と地域でも実施して頂くようにした。</li> </ul>



[温暖化防止出前講座]

福岡県地球温暖化防止活動推進員アドバイザー 植木康太

エコトンがきたあ〜。 エコトンかわいい〜！

何の会だかわからない様な子ども達の高ぶった歓声に包まれて始まった川崎町すみれ保育園での温暖化防止出前講座。

あまりにもインパクトの強いエコトン人気に、中に入っている私もたじろぎながら、これじゃあ講座が成り立たないと、可愛いしぐさや動きを止め、息をひそめ、子ども達の視線をスクリーンに向けるたに冷や汗をかきました。田川の推進員による紙芝居もクイズ形式でどんどん進行し、正解者によるじゃんけん大会、エコトンストラッププレゼントと多いに盛り上がり、大盛況の中、無事出前講座を終えることができました。



わいわい楽しい講座の中で水の出しっぱなしや、電気のつけっぱなしやめようという伝えたいことは伝わったと手ごたえを感じました、この子供たちはきっと素晴らしい大人になるだろうと確信しました。

そして講座終了後はまたまたエコトンは子供たちに囲まれ、もみくちやにされながら握手攻めに遭いました。そうでなくても汗だくだったのに動き回されてもうグショグショ！

幕裏でぬいぐるみを脱ぎ、シャツを絞るとまるで雑巾絞り。それを見ていたかわいらしい保母さんたちは「私が入ればよかった、痩せられそう！」。いつでも交代してあげますのでご希望の方は早めにご連絡をください。

県下40か所でこのような活動が展開されていることを思うと、なんだか楽しく頼もしく思えてきました。



## 新人 自己 紹介

大平です。

### 1. 自己紹介

福岡市東区の環境コンサルタントに在職。

業務としては、地球温暖化防止活動、エネルギー環境問題の次世代教育、中小企業の省エネ・環境マネジメントコンサルティングを担当。環境カウンセラー（市民部門）としては、自然環境保全を主とし、里山保全、ビオトープの企画・管理、おもしろサイエンス科学実験講座などを行う。

### 2. 活動記事

田川市の行政や議員及び地域住民などと連携し、田川市の水田を利用したビオトープを整備し、自然観察会などに活用いただいている。福岡県や自治体の行政及び地域住民などと連携し、福津市手光地区の耕作放棄水田をビオトープ化し、水田体験や絶滅危惧種の産卵生育環境として利用されている。福岡県衛生連合会年次総会、内閣府地域カーボン・カウンセラー養成講座、飯塚市 e-zuka 会、福岡工業大学ビオトープ管理士受験講座、福岡県環境マイスター派遣などで、省エネやビオトープなどの環境に関する講師を行う。

### 3. 所感

東北大震災に伴う地球規模の新たな環境問題が発生し、エネルギー問題、低炭素社会作りや地球温暖化対策など、これまで当然のこととして取り組んでいたことを根本から見直す必要があると感じた。よろしく、お願いします。

## 新入りの力武です。自己紹介と今年の活動実績を。

- ・名前;力武 和夫
- ・年齢;昭和 24 年生まれ 62 才
- ・勤め先;九州林産株式会社 野間にあります。
- ・今年の活動実績 6月・・・夜須高原で環境学習の実施;リンデンホール小学部 4 年  
7月・・・福岡工業大学講義・・・ビオトープに関するもの。  
9月・・・全国学校ビオトープコンクール審査員として審査;壱岐南小学校  
11月・・・西日本短期大学講義・・・ビオトープに関するもの

などですが、私は日本ビオトープ管理士会北部九州支部に入っており、そこでの活動が主となっております。写真を添付します。

またなにかございましたら、連絡して下さい。よろしくお願いいたします。



### 事務局だより

県 NPO ボランティアセンターに借りているロッカーの中にいろいろな情報を入れてあります。持ち帰らずに、ご覧下さい。高崎

#### ◆会費納入のお願い

「ふくおか環境カウンセラー協会」は会員の皆様の会費で運営されています。また、全国連合会費も会員数に応じて支出しています。会費未納の方は至急納入してください。

年会費 3,000 円 振込先：郵便貯金総合通帳「ぱるる」

記号 17410 番号：75552581 名前：福岡環境カウンセラー協会

#### ◆準会員 並びに 賛助会員 募集

準会員：会費（1口2千円） 賛助会員：会費（1口1万円） 学会会員：会費なし

#### ◆ホームページ <http://fukkan.sa-ba.jp/> の掲示板 及びメーリングリスト 活用下さい。

発行責任者： 依田 浩敏

編集責任者： 植木 康太

連絡先(広報担当 植木)：〒825-0018

田川市番田町 7-16

TEL/FAX：0947-23-0300

メールアドレス：k.ueki1@crocus.ocn.ne.jp